

こうとう民報

2010年11月号 No.73

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 江東区民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話 3648-5155/FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/



11月16日、江東区労連主催第28回秋の学習と交流のつどいが産業会館で開催されました。(写真左は記念講演する平井哲史弁護士)

ひとしほの労働者をなごろう

未組織対策委員会が交流のつどい
区労連が一年間で一千名を超える仲間を新たに拡大したことや個人加入労組として誕生した地域労組とうとうが結成時から倍化されたと報告しました。

区職労は学校用務の委託など公務員の非正規化による官製ワーキングプアの拡大や新入職員や非正規職員の組織化のとりくみ、きかんし労組からは非正規社員



区議会第3回定例会では自民党の代表質問に答えて区長が来春の区長選への出馬を表明しました。その際、自民議員が区長持ち上げの実績として先ず取り上げたのが「子ども医療費無料化」や「全小・中学校の耐震化」でした。

しかし、これらは共産党区議団の実績の盗み取りです。子ども医療費無料制度は、日本共産党区議団が18年前に条例提案を行なったことがきっかけに



学3年生まで拡充と少しずつ中身を豊かにしてきてきました。この間、日本共産党区議団は、議会質問で繰り返

区長再出馬表明 その実績は...

返し取り上げるとともに、条例改正案や予算修正案の提案などあらゆる機会を通じて実施を迫ってきました。

この間、日本共産党区議団は、議会質問で繰り返して取り上げるとともに、条例改正案や予算修正案の提案などあらゆる機会を通じて実施を迫ってきました。

「区長の実績」から共産党区議団の値打ちが光るひとこまでした。

個々の労働者に寄り添う地域ユニオンの役割

東京法律事務所の平井哲史弁護士は「個々の労働者に寄り添う地域ユニオンの役割」と題して記念講演を行いました。

平井氏は未組織労働者の増大に伴う労働相談の増大、個人加盟労組地域ユニオンの取り組み、法律をテコにした闘い方、知っておくと便利な法律知識、個々の労働者に寄り添う個人加盟労組の意義と期待される役割について説明し、「雇用区分が多様化し、企業内組合

何でも相談会 主催大運動実行委員会

11月3日砂町文化センターと隣接の砂町公園で大運動実行委員会による「何でも相談会」がおこなわれ、32人が相談に訪れました。



弁護士・医療・年金など専門家が対応

相談者の多くが年金生活で、病気や医療費、介護保険料が払えないなどくらしの問題が半数を占めていました。中には「夫は認知症でこのままだと共倒れになりそう」とせっぱ詰まった相談も寄せられました。

労働相談では、「時給800円のアルバイトもなく生活保護を受けたい」など相談が寄せられました。相談会開催を事前に新聞に折り込み、当日も砂町銀座でビラを配布しました。

第40回赤旗まつり 8人全員勝利を!



朝騒

4年ぶりの夢の島・第40回赤旗まつりは快晴に恵まれ、10万人超の参加者で大盛況でした。日本共産党機関紙の名を冠する大型イベントは他党の追随を許さず、国会では少数派とはいえ国民の中に根をおろし、社会改革に奮闘する姿勢を如実に示しています。

「科学の目」講座など、党の歩みに確信と展望が拓かれています。▼各ステージや広場の音楽、芸能、スポーツなどの催しでは、出演者と参加者が一体となって盛り上がりがあります。物産模擬店街を歩けば、日本中の豊かな地域の伝統を心ゆくまで味わうことができます。日本の良識を集めたる万冊の大書館市では、党幹部や著作者のサイン会に人垣が絶えません。▼地域・職場・分野ごとのテントの中で、時空を超えた再会の握手と懐旧談が交わされます。また、このまつりの裏方、2000人のボランティアの献身も見逃せません。▼いま危惧されている「無縁社会」とは無縁の、変革の志を同じくする仲間目に見えぬ絆が夢の島のまつりを支えています。この絆を夢の島から国中に広げていくことを夢に終わらせてはならないのではないでしょうか。

平和・くらし風土記 ⑤③

あそか病院創始者 九條武子

「あそか会八十年史」に、あそか会経営理念は「創始者の志を受け継いで、仏教の慈悲の心をもって医療・介護にあたる」。あそか病院・基本理念は「創設者九條武子夫人の心を引き、…安心して治療を受けられる病院を目指す」と書かれています。

九條武子は1887年(明治20年)に京都西本願寺法主の次女として生まれ、1908年男爵九條良致と結婚、1916年には佐々木信綱に師事し和歌を学び与謝野晶子らと交わり、「金鈴」「薫染」などの歌集があります。

夫とともに東京築地本願寺に住んでいたとき関東大震災に遭遇。築地本願寺は日比谷公園に救護所を設置し武子はその医療活動に心血を注ぎます。(仏教の福祉思想は、他者を救う行いのなかに、自己が救われる『布施』が基本にあります)

この時、直接の罹災者だけでなく日頃医療に恵まれない多くの人々が殺到し、1日、2百人、3百人の外來があり、このことがあそか会設立、あそか病院開設のきっかけとなります。



1927年(昭和2年)、武子は詩文集「無憂華(あそか)」を出版しベストセラーとなります。印税はそっくり貧困層の医療や福祉にあてられ、あそか病院開設の基金として提供されました。武子は歳末貧民救済事業として巡回診療を行います。病人のいる本所、深川方面の生活困窮者の家を戸別訪問するもので、戸数は90戸、患者は数百人といわれています。

武子は過労のため敗血症となり、「設備の整った病院を建設したい」との悲願を残し、1928年(昭和3年)、42歳で亡くなりました。この年、武子の遺志を継いであそか会が組織され、2年後、同潤会より猿江の土地が無償貸与され、多くの人びとの協力を得てあそか病院が開設しました。

「あそか」とは「無憂華」と書き、仏教三大聖樹の一つで、武子の詩集にちなんだものです。

「拉致問題 革新勢力に期待する」

蓮池透氏(元家族会事務局長)が講演 主催:江東革新懇



2002年拉致被害者5人とその家族の帰国以来、拉致問題はなんら進展をみていません。今年も韓国併合から百年を迎え、

植民地支配という過去の誤りが清算されていない今日、拉致問題、核・ミサイル問題、日朝関係の正常化を図ることが課題になっていきます。

11月16日、江東区で開かれた「あそか会八十年史」記念講演会に、蓮池透氏が講師として講演を行いました。蓮池氏は冒頭で「拉致問題は限界を超えている」と述べ、この間の経過と運動を紹介しました。

「民主党に政権交代した。菅政権にはなぜ北朝鮮は怒っているのか、何を望んでいるのかよく考えて欲しい。対話と交渉なくして和解はない。」

鳩山演説にある北朝鮮の調査委員会設置を制裁緩和と同時にすすめ、それを糸口とすべきである。過去の清算を具体化し、堂々と行動する姿勢を提示することにより、北朝鮮の同時行動を求めていくべきではないか」と話しました。

参加者から、これからの活動は？拉致された人数は？革新政党の共産党との協力など質問が出され、蓮池氏は「右傾化の世論をニュートラルに戻したい。そのために、革新勢力に期待したい」と強調しました。



消費税増税反対大学習会

—消費税廃止江東各界連

江東各界連は、16日消費増税10%増税反対大学習会を30名の参加で開催しました。講師の川上允さん(消費税をなくす東京の会)は、

「あらためて、なぜ消費税に反対か、そもそもから考える」をテーマに講演。冒頭、「清水寺住職が2年前に『偽』という漢字で1年を表したが、ウソの典型が消費税だ。当時、高齢化社会のためと導入した消費税だが実態はそうはなっていない」と厳しく批判。今年「消費税増税に向けて動き出した菅内閣は、自民党の戦略に相乗りすれば、世論の批判をかわせるとの姑息な作戦にでて、重大な局面を迎えています。」

また派遣労働者の人件費は、派遣会社に支払うので物品扱いです。そのため派遣労働者を増やし、直接雇用の減らすことで人件費が少なくなり、消費税は輸出大企業を優遇する税制であるとともに労働者切捨て促進税です。消費税反対は救国の運動です。大きな運動にしましょう」と訴えました。

ある経済学者は「10%になったら商店街がなくなり、残るのはコンビニと和民とヒゲチ薬局くらいになってしまう」と地域経済の破壊につながる税金と指摘しています。

参加者からは、「勉強になった。マスコミ絡がかりともいえる増税キャンペーンに、宣伝にも新しい工夫が必要になっていきます。どんどん街に出て宣伝を広げていくことが大事」などの感想が寄せられました。

消費税反対は 救国の大運動

海外へ輸出している大企業は、消費税を1円も負担しないばかりか、莫大な「戻し税」を受け取っている。赤字の税務署があるかと調べてみるとトヨタのある豊田市の税務署や東京では、キャノン本社のある蒲田税務署で、いずれも輸出

産業の大企業のあるところ。これは輸出した商品について非課税とする措置により、仕入れた物品などの消費税が返還されるため「戻し税」といわれています。

行事

- 11月28日(木) 10時 江東生活と健康を守る会 第38回大会
- 総合区民センター
- 12月17日(木) 17時半 消費増税反対署名会
- JR亀戸駅
- 消費増税反対江東各界連

